

東八道路整備計画の策定検討会議
参加に当たっての市の考えは

早期着工となるよう
強く要請していきたい



▲東八道路の交差点

東八道路の整備促進については、本市においても早期実施を陳情している。整備方針の策定に当たっては、早期に着工する位置付けとなるよう、強く要請をしていきたい。

稲津 憲護議員 平成11年に東八道路が西原町まで延長され便利になったが、国立府中インターチェンジまでの計画

が残っており、西原町を大きく斜めに横切るようになってくる。都では17年度末までに完成もしくは着工予定としているが、計画道路にかぶさる市民から不安の声を聞く。そこで、計画道路線の線引きを確認する方法は。また計画年次が残り1年となり、18年度からの10年間の整備計画を都と各市町との連携により検討を始めた。そこで、この計画の前段階の策定検討会議に参加するに当たっての市の考えは。都市建設部長 線引きの確認は、計画課にて、図面で確認してもらっている。

豪雨などの災害発生時
高齢者等の災害弱者対策は
府中市地域防災計画に沿って
支援体制を整えている

宮本 武蔵議員 市民の生命・財産を災害から守るために、多面的に防災力を高めることが必要と思うが、市の基本的な考え方を聞きたい。

また、この夏の豪雨災害では、犠牲者のほとんどが60歳以上の高齢者だったが、障害者等を含めた災害弱者対策について、市はどう考えるか。市長 自らの安全は自らが守る自助と、自分たちのまちは自分たちで守る共助、そして、行政が担う公助が三位一体と

常任委員会からの審査報告

総務委員会

第51号議案

平成15年度府中市競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が9億1357万5400円、歳出が9億1256万3300円との説明があった。

質疑に対して、「電話投票による売上げは、総売上高の13・8%となり、施行者別では第2位になる」等の答弁があった。

第48号議案

平成15年度府中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が16億4650万5000円、歳出が16億4203万3000円との説明があった。

質疑に対して、「医療費が、この数年間、老人医療制度の改正により、70歳から75歳までが国保の対象者になるなど増加しており、これを反映して繰入金も増加している」、「国保加入者の所得は、現在、課税所得の300万円以下の世帯が85%を超え、大分下がっている状況である」等の答弁があった。

文教経済委員会

第39号議案

府中市道路線の認定について

この議案は、開発行為により築造され、市に帰属となった道路26路線、及び一般寄付を受け改良整備を行った道路2路線、合計28路線について、道路線の認定を行うもの

質疑に対し、「現在の道路率と目標道路率、進ちよく度については、現在道路率12・14%で今回の認定、廃止に伴い12・18%となり、長期総合計画の目標値である12%をクリアしている」等の答弁があった。

委員から、「今後も地域の住民要望に十分対応していただくよう要望して、本案に賛成する」、「認定道路と既存の道路との接続部分での事故が多いので、カーブミラーの設置など、事故防止策を研究、実施することを要望して、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

審査の結果、本案については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

厚生委員会

第43号議案

府中市複合福祉施設(仮称)新築工事請負契約

この議案は、府中市分梅町1丁目31番地において、府中市複合福祉施設(仮称)の新築工事を施行するもの

この議案は、「工事の主な内容は、建築面積1018・80㎡、地下1階、地上5階建ての工事で、契約金額4億6725万円です。契約を締結している」等の説明があった。

質疑に対して、「本複合福祉施設に設置される保育所については、一時保育、休日保育、夜間保育などができる全所的な施設として考えている」、「施設の管理運営については、今後打ち出される公の施設の管理運営方針に従い、詳細を検討したい」等の答弁があった。

委員から、「低入札については、今後、適正価格をもう一度考えていただくことをお願いし、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

第39号議案

府中市道路線の認定について

この議案は、開発行為により築造され、市に帰属となった道路26路線、及び一般寄付を受け改良整備を行った道路2路線、合計28路線について、道路線の認定を行うもの

質疑に対し、「現在の道路率と目標道路率、進ちよく度については、現在道路率12・14%で今回の認定、廃止に伴い12・18%となり、長期総合計画の目標値である12%をクリアしている」等の答弁があった。

委員から、「今後も地域の住民要望に十分対応していただくよう要望して、本案に賛成する」、「認定道路と既存の道路との接続部分での事故が多いので、カーブミラーの設置など、事故防止策を研究、実施することを要望して、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会からの中間報告

基地跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況については、都議会において、調布飛行場の安全性確保及び就航率向上に関する諸課題に関する協議が、都から三鷹市、調布市、本市に対してあり、具体的内容について、今後、都と関係3市の間で協議を進める予定になっている。

次に、府中基地跡地留保地の状況については、国立医薬品食品衛生研究所との移転場所の協議状況として、同研究所から、本市の意向を十分に踏まえ、移転場所について調整したい旨の申入れがあり、今後、具体的な移転場所を含めて、留保地全体の利用計画案を検討したい等の報告があり、これを了承した。

再開発対策特別委員会

府中駅南口A地区の現況については、平成16年度通常総会が開催され、15年度の活動報告並びに16年度の活動計画案とコンサルタント選定結果等が提案され、全会一致で可決承認された。次に、府中駅南口第三地区の現況については、16年8月31日現在、住宅棟及び商業棟の躯体工事完了し、内部の境壁工事や設備工事等を順次施工している。

鉄道対策特別委員会

また、専門店との予約契約は、8月末現在で、出店予定数60店舗のうち、予約契約及び経済状況確認書の提出が51店舗となっており、残りの9店舗は9月末を目標に、鋭意出店条件の交渉を行っている等の報告があり、これを了承した。

西府土地地区画整理組合の事業計画の変更については、まちづくり交付金の導入に伴い資金計画の見直しを行ったもので、事業費の総額は11億4000万円増の94億1000万円となる。西府土地地区画整理事業の状況については、まちづくり交付金が、7月末に国土交通大臣から、6月18日付で交付決定された旨通知されている。また、工事及び建物移転の予定は、組合では仮換地指定後に移転、工事などに着手することとなっており、今年度は、道路予定地の埋蔵文化財の調査等が予定されている。

また、JR東日本との協議は、「スイカ」等の費用負担について、引き続き協議を行っている等の報告があり、これを了承した。